

昭和
100年
1926—2026

映画のまち岐阜 100年の物語展

令和8年 6月27日(土)~9月23日(水・祝)

昭和元年(1926年)12月31日岐阜ロイヤル劇場の前身青雲館がオープン以来、改築や改修及び館名変更を経て昭和52年(1977年)より現在のロイヤル劇場の姿に開館以来100年間にわたる青雲館の全上映番組をチラシや新聞広告から調査年代順の上映番組を横軸に映画や映画館の移り変わりを物語風に辿る岐阜でロケされた映画や岐阜にゆかりのある映画人を紹介



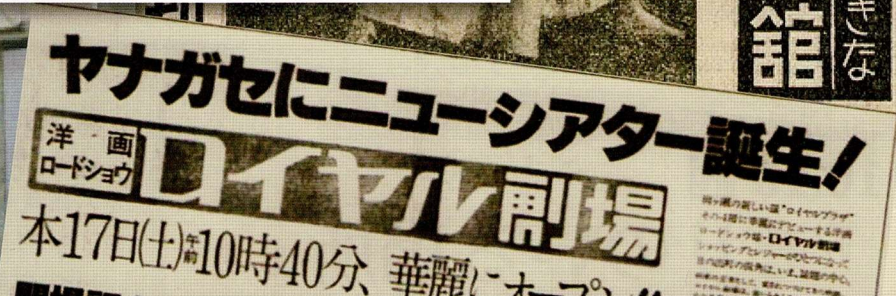
昭和10年9月の青雲館



昭和34年4月の青雲館(スカラ座)



昭和29年9月の青雲館



開館時間 午前9時~午後5時
(入館は4時30分まで)

入館料 大人(高校生以上)・・・1人300円
団体(10人以上)・・・1人250円

休館日 毎週月曜日(ただし祝日は開館)
祝日の翌日
年末・年始(12月28日~1月4日)

小・中学生……………無料
障がい者割引……………150円

羽島市歴史民俗資料館・映画資料館

〒501-6241 羽島市竹鼻町2624-1 TEL(058)391-2234/FAX(058)391-7663

ホームページ <https://hashima-rekimin.jp>



7.11 土

『シンペイ～歌こそすべて～』

監督: 神山征二郎 127分

岐阜県が誇る映画界の巨匠、神山征二郎監督による最新作。音楽に人生を捧げた人物の情熱と生き様を、深い人間理解と確かな演出で描き出します。



スペシャルイベント

【午前の部】

9:50 セレモニー

10:00 映画上映

12:15 監督トークショー

13:00 終了

【午後の部】

14:00 映画上映

※トークイベントはございません



神山征二郎監督



開館30周年 特別企画開催

羽島市歴史民俗資料館・映画資料館は、おかげさまで開館30周年を迎えました。

この節目を記念して、岐阜県にゆかりのある作品を集めた特別な映画上映会を開催します。また、作品の魅力をより深く味わえる監督トークイベントも計画しています。

8.8 土

『郡上一揆』

監督: 神山征二郎 112分

幾多の困難を乗り越え製作された、神山監督宿願の歴史大作。民衆の誇りと団結を描いた、岐阜の歴史を語るうえで欠かせない一作です。



9.12 土

『光る川』



監督: 金子雅和 108分

全編岐阜県ロケによって生み出された圧倒的な映像美。自然と人間の関係を静謐なまなざしで描く、金子監督の最新作です。

スペシャルイベント

【午前の部】

10:00 映画上映

11:50 監督トークショー

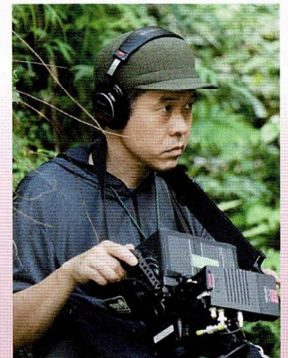
12:30 終了

【午後の部】

14:00 映画上映

15:50 監督トークショー

16:30 終了



金子雅和監督

不二竹鼻町屋ギャラリーとのコラボイベント

10.10 土

『モリのいる場所』

監督: 沖田修一 99分

岐阜出身で「画壇の仙人」と呼ばれた画家・熊谷守一。その穏やかで奥深い日常を描いた、心に染み入る人間ドラマです。



※映画は午前の部(10:00~)と、午後の部(14:00~)で2回上映いたします。

※入館料(300円)でご観覧いただけます。

※7月11日、および9月12日のイベントではスペシャルイベントとして監督のトークイベントが開催されます。席数には限りがありますので予約(来館、電話、ホームページ)を受け付けております。当日の席は先着順ですので、お早めにお越しください。

(9時より入場可能です)

※10月10日のイベントは、近接する「不二竹鼻町屋ギャラリー」とのコラボイベントになります。ギャラリーでは熊谷守一の作品展が開かれていますので、ご覧になられる方は共通券(500円)をお求めください。